

令和5年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 長生村	団体区分（混成の場合は複数☑） <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 縁起が良いカラーマンホールのみによる下水道普及促進広報の一点突破！	
責任者（実際に広報に取り組んだチームの代表者） 氏 名：野口 佳孝 所 属：長生村役場 下水環境課 電 話：0475-32-2494 E-mail： cho-gesui@vill.chosei.lg.jp	
担当チームの構成 （外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） 企画・実施：村職員（下水環境課下水道係2名）	
取組のポイント （一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） ○長生村の70周年記念事業の一環で、下水道の普及促進、早期接続の啓発のための取り組みとして、住民に下水道をもっと身近に感じてもらうためにカラーマンホールを設置した。 ○カラーマンホールの設置箇所は、当初は秘匿とし、村内にある公共下水道のマンホール約2,700基ある内の1基だけ設置したという情報を公開し、住民参加型の『カラーマンホールを探そう！』イベントを実施した。 ○マンホールカードの新規登録に併せ、様々な『縁起が良い』マンホールに関するグッズを作成し、大きな反響があった。 ○来年1月からは受験生応援グッズとして、専用の封筒を作成し、メッセージカードとマンホールカードを同封した縁起物として配布を予定しており、さらなる下水道の広報に邁進している。	
アピールポイント ○長生村のデザインマンホールは、「ながいき」にちなみ、「鶴は千年・亀は万年」という長寿の象徴である動物が描かれており、大きく開けた九十九里浜の青い海を青海波柄で表されている『縁起が良い』マンホールになっている。以前より、マンホールカード化を望まれたデザインになっている。 ○企画から啓発物資の発注、広報活動までを担当職員2名で行い、人数少ない中でも新聞に掲載される等話題を呼ぶことができた。	
要したコスト 【総額】 1,297,450円 （内訳）①カラーマンホール作成：296,450円、②1/6サイズ鋳鉄製コースター（10枚）：71,500円、 ③ラバー製コースター（600枚）：297,000円、④紙製コースター（4,000枚）：176,000円、 ⑤マグネット（300枚）：165,000円、⑥マンホールカード（4,000枚）：88,000円、 ⑦顔出しパネル：41,800円、⑧受験生応援グッズ・封筒等（1,000枚）：161,700円	

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

下水道をもっと身近に感じてもらうための、カラーマンホール設置、マンホールグッズの作成



長生村の全域を公共下水道整備する計画で、平成9年度から下水道を供用開始している。整備率として令和4年度末時点で約45%、接続率は約80%となっており、未普及箇所の整備の必要性や接続率の向上を目指す広報活動の一環として、カラーマンホールを設置し、マンホールカードの新規採用を目標に令和5年度をスタートさせた。カラーマンホールを設置するとともに、マンホールグッズ各種を作成した。右写真は、1/6サイズ鋳鉄製マンホール、ラバー製コースター

、紙製コースター、ハンズ（旧：東急ハンズ）が監修・販売するマンホールカレンダーにも採用された。配布しやすい紙製コースターには、長生村が推進する移住プロモーションのHPアドレスをQRコードに転載し、首長等の名刺交換時等に併せて配布することで、長生村そのものを広く周知している。



担当者も驚くイベントでの反響

住民参加型の『カラーマンホールを探そう！』イベントは、HPや役場庁舎内にポスター掲示で周知していたが、株式会社 千葉日報社にマスコミ周知したところ、紙面に採用していただいた（令和5年8月10日）。これを機に、イベントの参加者が急増した。村内在住者であれば、設置場所が簡単に分かるヒントを載せていたが、村外からのイベント参加者・来訪者から設置場所について問い合わせが増えた。参加者への記念品として、ラバー製マンホールコースターと、同じく70周年記念事業で作成したボールペン・絆創膏を併せて発送したことで、好評いただいた多数の連絡やSNS等にも投稿があがった。記念品のコースターを見た住民からは、コースターが欲しいという問い合わせや販売についても要望が多くあがった。



カラーマンホールを探そう！イベント

「ながいきフェスタ」での
じゃんけん大会風景

プロのエレクトーン奏者
826askaさん

成果

（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

○「カラーマンホールを探そう！」イベントでは、**0歳5か月～94歳までの85名が参加**された。内訳として村内在住54名、長生郡市内13名、千葉県内10名、県外8名と**村外からの参加者が36%**となっており、『縁起が良い』マンホールを目当てに**幅広い世代**で多くの方が参加してくれた。

○村が主催する「ながいきフェスタ」の無料餅配布では、担当職員が顔出しパネルを用いて、【マンホールマン】として、じゃんけん大会を開催し、会場にいた**120名を超える参加者が集まり**、大盛況と相成った。このイベントでは顔出しパネルを一般住民に貸し出し、子供たちを中心に多くの写真撮影が行われた。また、イベントの出演者で、**プロのエレクトーン奏者でYoutuberの「826aska」**さんも顔出しパネル姿をSNSで投稿したところ、ファンを中心に**28,000インプレッション、1,725いいね**（令和5年11月23日現在）を達成しており、長生村の下水道を広く周知するのに協力いただいた。